

協働通信

今回は、今年度から都留文科大学地域交流研究センター長に就任された鳥原正敏教授(初等教育学科)にお話を伺いました。



■地域交流研究センター長の鳥原先生。地域交流研究センターでは、「フィールド・ミュージアム部門」、「発達援助部門」、「暮らしと仕事部門」の3つの部門を設置するほか、地域に向けて様々な活動を行っています。

◆地域交流研究センター(以下、「センター」)での鳥原先生の活動を教えてください。
たからばこ作戦(図工工作におけるデジタルデータベースの教育的可能性に関する研究)、宝保育所での美術教室、「つる宝かるた」への制作協力、造形教室、市内小・中学校教員との勉強会、ワークショップなど地域の中でいろいろな活動をさせてもらっています。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322



■情報通信技術を活用して美術と情報を連携させた、新しい図工教育プログラム「たからばこ作戦」。都留文科大学の授業や、研究活動にも活用しています。

◆都留文科大学の新たな取り組みについて教えてください。

平成25年4月、都留文科大学にCOC(センター・オブ・コミュニティ)推進機構が設立されました。設立された目的は大きく2つあります。

一つめは、地域と大学とをつなぐ窓口としての機能です。もう一つは、大学内で様々な先生が地域をフィールドとした研究を行っています。そういった個々の研究活動を大学全体の研究活動として捉えなおそうというものです。将来的には、集約した研究成果を地域と社会に発信していくべきであると考えています。

センターは、COC推進機構に比べ設立が早く、COC設立の理念と重複する部分が多いので、まだ確定して

ない部分もありますが、今後は地域の窓口をCOC推進機構に一本化し、地域に関わる活動の拠点としては、センターが中心になるだろうと考えています。

◆地域の方々へお伝えしたいことをお聞かせください。

今年度からセンターの発達援助部門の新分野「地域特別支援教育」が開設されることになり、これまで以上に地域との関わりが深くなっていくだろうと思いますので、皆さまには今後も引き続きあたたかいご理解とご支援をいただければ幸いです。

私としては、大学と地域が関わっていくうえで、年齢や世代、職種などは全く関係ないと思っています。どうしても大学というと「専門的な研究集団」というふうに見られがちで、親しみにくい部分もあるかもしれませんが、都留文科大学は先生方の研究分野が広いので、地域のあらゆる世代や分野の人たちとつながる可能性が期待できます。

地域の皆さまに「都留文科大学があつて良かったな」と思ってもらえるように、これからも様々なご意見をいただきながら研究活動を進めさせていただきたいです。

問合せ先

COC推進機構

都留文科大学 地域交流・COC担当

☎(43)4341(内線243)

活動内容や地域との関わりについて、お気軽にお問い合わせください!

地域のお知らせ

東桂地域

十日市場・夏狩湧水群遊歩道の草刈と清掃
日時 6月13日(土)8時30分
集合場所 関山産業駐車場広場

健康ウォーキング

日時 6月20日(土)8時30分
集合場所 東桂小学校校庭

鹿留川河川敷公園の草刈と清掃

日時 6月27日(土)8時30分
集合場所 旧相川プレス工場裏の広場
※いずれも詳細は東桂地域コミュニティセンターにお問い合わせください。

谷村地域

夢実現ひろば 長安寺の彫刻を見学!
長安寺本堂の内陣外陣にある24の彫刻の説明を聴こう!

日時 6月25日(木)13時～15時30分
集合場所・問合せ まちづくり交流センター
☎(43)1321

禾生地域

環境美化運動

地域4カ所フラワーパークの植栽

※日程などは禾生地域コミュニティセンターにお問い合わせください。